ID No.201	
研究課題名	炎症性疾患におけるITAM受容体-CARD9経路を介した免疫活性化機構の解析
研究代表者	吉田　裕樹 （佐賀大学・教授）
研究組織 受入教員 研究分担者	 岩倉　洋一郎　（東京大学医科学研究所） 原　博満　（佐賀大学） 角田　茂　（東京大学医科学研究所）

研究報告

本共同研究では、自然免疫に深く関わるITAM受容体-CARD9経路に関して以下の解析を行い次の点を明らかにすることを目指した。
① ITAM受容体-CARD9経路による自己免疫疾患の惹起・促進の分子メカニズムの解明。
② 自己免疫疾患モデルにおける炎症に関与するITAM受容体の同定と生理機能の解明。
③ CARD9シグナル経路の制御機構の解明。
これらに関し、皮膚炎や大腸炎モデルマウスを用いた実験により、発症における本経路の関与、本経路を介したIL-1関連サイトカインの活性化機構等が明らかになってきた。また、一部の感染実験において病原体を認識し、本経路を活性化する受容体候補が同定されたため、現在その機能解析や炎症誘導機構を解析している。また、本経路やIL-1関連サイトカイン活性化と炎症誘導に関わる遺伝子に着目し、2系統(2遺伝子)の遺伝子欠損マウス作成を共同で行い、現在得られた遺伝子欠損マウスの交配を行っている。
なお、岩倉洋一郎教授の退官に伴い、本共同研究は研究完了とした。